

Ai愛労連

愛知県労働組合総連合
 名古屋市熱田区沢下町9-7
 労働会館東館3F
 TEL 052-871-5433
 FAX 052-871-5618
 URL http://www.aioren.gr.jp
 338 2021年9月号
 発行人 竹内 創

愛労連第1回評議員会

とき 9月4日(土) 13:30開会
 ところ 労働会館東館2階ホール
 名古屋市熱田区沢下町9-7
 金山総合駅東口から徒歩10分

愛労連第64回定期大会 いのちと暮らしを守る大きな愛労連へ

10万人愛労連へ踏み出そう

愛労連は7月18日(日)、日本ガイシフォーラム・レセプションホールで第64回定期大会を開催。代議員、傍聴者など約1500人が参加し、議案の提案・採択、役員選挙などがおこなわれました。
 コロナ禍のもとリモート参加を併用しての開催となり、会場では感染拡大防止対策を取りながらも、仲間の団結でコロナ禍を乗り越える熱気に満ちた大会になりました。
 大会には、来賓として全労連から小畑議長を招いたほか、愛知県知事やこの間最賃のとりくみでも共同を広げた与野党の国会議員、そして県の内外からも多くのメッセージが寄せられました。
 (代議員発言要旨2〜4面、メッセージ一覧・2022年度愛労連役員一覧ほか大会の詳細は2〜3面に掲載)



西尾新議長の下、強く大きな10万人愛労連を作ろうと全員で『団結してガンバロー』

大会議長団の2人。リモート併用の難しい状況もしっかり進行



大会では福保労の薄代議員と港地区労の幸島代議員が議長を務め、議事が進行されました。
 議案提案では、最賃闘争での大きな前進、連日マスクに取上げられたコロナ禍でのとりくみの成果などこの1年の総括、そして未来を切り拓いたたかひの2022年度方針を提案。討論では36の発言(内文書発言1)がありました。

今回はスライドショーを用いたの発言やリモート参加者からの発言もあり、コロナ禍からのいのち・暮らしを守るとりくみ、困難な職場状況でも賃金・労働条件を守るとりくみ、組織拡大、争議、地域でのとりくみ、名古屋市長選挙についてなど多彩に、かつ旺盛に語られました。

愛知ローカルセンター初の女性議長誕生
 役員選挙では知崎議長に代わり、西尾美沙子副議長が新議長に就任しました。
 西尾新議長は「労働組合が大好き。女性や子育て・介護をしながらも参加出来る敷居の低い労働組合にしていきたい。そして誰もが普通にくらせる社会をめざして全力で行動したい」と決意を述べています。新議長のもと、誰もが安心して暮らせる社会をめざして、愛労連は歩みを進めます。

最賃 中央目安どおりの時給955円(昨年+28円) コロナ不況脱却に更なる最賃引き上げを



8月6日、前日の答申を受けて名古屋市中区三の丸で抗議の宣伝行動。あきらめずに異議申し出をおこない、引き上げを求める

7月14日、今年の最賃の改定額を決める中央最低賃金審議会は全国一律で28円引き上げる目安を示しました。そして8月5日、愛知地方審議会は、28円引き上げ、時給955円(中央の答申どおり)とする答申を出しました。過去最高の上げ幅となりましたが、8時間働けば普通に暮らせる金額ではありません。
 愛労連が試算した「最賃1500円の経済効果」では、愛知県の最賃1500円実現の効果で、県内の消費が増え、雇用や税収も増加すると試算されています。コロナ不況脱却のためにも今こそ最賃の大幅引き上げが必要です。愛労連は異議申し出を含め、引き上げを求める運動を強めます。

議長あいさつ

いのちと暮らしを守る先頭に



愛労連議長 知崎 広二

コロナの感染再拡大の中、オリンピックが始まります。アスリートのみ皆さんの思いも理解できませんが、いのちと引き換えには絶対出来ません。今年10月の最低賃金改定は、中央最賃審議会小委員会の議論で、過去最大の28円の目安金額が示されました。私たちの運動の成果でもあります。

政府は即刻、五輪中止・延期を判断すべきです。コロナ対策に集中し、今何よりも国民のいのちを守れと声を大にして言わせていただきます。
 が、普通に暮らせる金額にはほど遠いものです。これから愛知の審議会において公労使の攻防が始まります。労働者、特に女性や非正規労働者の声を反映できるようにとくみを強めます。総選挙が10月までにおこなわれます。安倍政権は、国民の声を無視し、多くの悪法・悪政を強行しても正気とは思えません。そして両政権とも不祥事が次々と明るみに出ています。こんな「腐敗」政権には一刻も早く公政権を退場させましょう。そのためにはまず投票へ行きましょう。コロナだからこそ、働ける賃金を上げて、国民の消費を増やし、国内、地域でお金を回すことが必要です。その土台となる県民要求を実現し暮らしを守る運動の先頭に立つ愛労連を強く大きくしましょう。

オリンピックが始まったが、7月27日、東京の感染者は1429名と月曜日では過去最多を記録し、全国では4692名と5000名に迫っている。このままでは、感染症対策の専門家が危惧していた8月初旬に都内の感染者数2000名を越え、全国総数も過去最多を記録することが現実的になった。オリンピック関連移動者の感染拡大も深刻な状況となっている▼感染拡大は、オリンピックが原因とは思わない。オリンピック開催そのものに反対しているわけではない。パンデミックはまだ世界中で収まりが見せず、ワクチン接種が進んでいない国でも、再々度のロックダウンを行っている。こうした中で開催に反対しているのだ。特に、日本では、総選挙を前にして政治的な意味合いも多分に感じられるのは、誰しも思うところだろう▼オリンピックを成功させ、菅政権の支持率を取り戻し、総選挙を乗り切る。そうした幻想は崩れ去った。これからパラリンピックも始まるかもしれないが、それこそ危険な行為である。パラリンピック選手は身体に基礎疾患を抱えている人も多い。命の危険さを感じさせる。選手だけでなく応援する側も同じだ▼対等の条件のもと、鍛え上げた身体・技で競い合うのがオリンピック憲章に盛り込まれている精神なのだ(T)

コロナ禍克服し、誰もが安心して暮らせる社会の実現を

不当なことで許さない



生協労連 森野代議員

コロナ禍で大学生協の経営が過去最大の赤字。労働組合ではアンケートやオンラインミーティング、学習などをとりにくく、今後もコロナだからといって不当・違法なことは許さない。生活を守るため学習・交流で時代にあった形を模索し、活動していく。



医労連 矢野代議員

コロナ禍でのアンケートから看護師の厳しい実態が明らかに。この状況がツイッターデモ、オンライン相談会、ネット署名などSNSで「見える化」により

コロナ禍だから「さ」で労働組合でいのちと暮らし、賃金・労働条件を守ろう

非正規雇用者を守る



名中センター 前田代議員

雇用の流動化のもと、雇用規制がゆるんでいる。国・行政レベルでの法治主義の無化のもとで使用者にも法定基準を守る意識の希薄化がすすむ。大学でも無期転換後の自発的な契約辞退の強要が横行したり、労働法制の全面崩壊が危惧される。組合は団交や労働委員会をたかたかしていく。

交連部会のとりのくみ



建文労 上江洲代議員

行政交渉で、運輸局、労働局などに現場実態や要求を訴えてきた。自動車などはコロナ禍のなか、規模を縮小してとりにくく、コロナ禍でタクシー業界の状況が深刻で県内4つの会社が経営破綻し、新城市ではタクシー会社がなくなる事態に。交通運輸を守るため、今後もとりにくくみを進める。

裁判がんばろう



昼休憩時には、生活保護裁判支援連絡会①と反原発訴訟原告団からの訴え。会場からカンパの協力もおこなわれ、反原発訴訟原告団へは36,910円、県労委で係争中の医労連・南医療生協労組へのカンパも19,221円集まった。

単産から26、地域から8(内文書)補助機関から2、計36の発言で総括も情勢も方針も豊かにしていただき感謝する。

総括答弁

今大会の発言では、「コロナを理由にさせない」声をあげれば変えられる「仕方ない」とあきらめない「どうやったら

地域でも職場でも要求と労働組合の見える化を

制度を変えてきた成果を確かめたい。当事者が現場から声を上げ、世論を動かすことが要求を実現できることを確認した

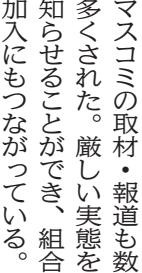
会の問題は先輩が積み上げてきた労働組合の権利を否定するものであり、許すことはできない。総力を挙げてたたかおう。



竹内 創 事務局長代行

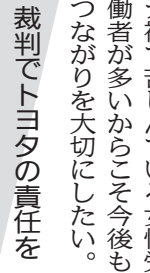
に、頼りておぼえてくれる。職場でも地域でも労働組合の「見える化」を重視してがんばろう。

労働者の状況を見るときにトヨタの影響は大きい。



女性協のとりくみ 後藤特別代議員

女性協はこの1年間、様々なとりにくくみをした。新春のついでに独自のとりにくくみから愛労連などのとりにくくみへの参加も積極的におこなってきた。コロナ禍で苦しんでいる女性労働者が多いからこそ今後もつながりを大切にしたい。



裁判でトヨタの責任を

愛知県で地域経済と県民

誰もが安心の社会保障を



年金者組合 加藤代議員

働き続けられる職場をめざすも、使用者とのたにかいだけでは実現しない。職場、そして患者のためにも制度自体を変えられるよう署名で世論を動かす。南医療生協労組は労使協約を一方的に破棄した法人と労働委員会で争議中。署名とカンパの協力を。

21年度の人動について



愛知国公 青山代議員

公務員の定年延長法案が国会で成立した。今後、定年延長に伴う課題が具体化



愛知県医労連 林代議員

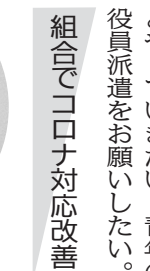
愛知県医労連は昨年からの10組合から16組合へと増加。新設では4月1日に説明会で成果を上げた組合がいくつもあった。新年度初日におこなう大会。7月4日に60周年大会をおこ

働きたい社会をつくっていく。



青年協 二井特別代議員

青年協はコロナ禍でも青年同士の交流を模索してきた。オンラインでの交流も経験し、今後は交流を広げていく。4月の名古屋市長選挙では青年連絡会としてとりにくくみ、たぐきんの青年と活動することで政治が少し身近になった。青年協活動もたくさん仲間とやっていた。青年の役員派遣をお願いしたい。組合でコロナ対応改善



愛知国公 江口代議員

私の所属する全法務の増員署名が全国で3万7000

国民生活を支えるため



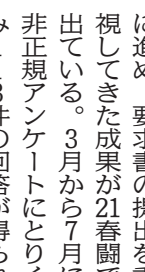
建文労 水上代議員

厚労省が水戸期世代を対象に免許取得費用援助や就職の斡旋などをおこなっている。これは交通系労働組合や業界からの要望によるもの。今後の人手不足解消につながる。一方で有料道路の料金問題は今後も交連部会などで要求していく。トラックドライバーもコロナ禍で国民生活を支えてきた。今後も働き続けられる環境を求めていく。



福祉保育労 塚本代議員

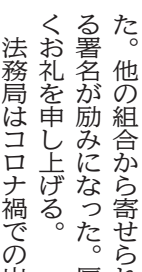
福祉職場は低賃金、長時間労働で労基法も守られない。専門性に見合った労働条件、制度改善を求めてきた。秋から要求討議を丁寧に進め、要求書の提出を重視してきた成果が21春闘で出ていく。3月から7月に非正規アンケートにとりにくくみ13件の回答が得られた。コロナ禍での非正規の厳しい実態が見られた。福祉労働者は正規も非正規も人権保障のいらない手。格差は正に向けても思いを出し合い討議をすすめる。



福祉保育労 福須賀代議員

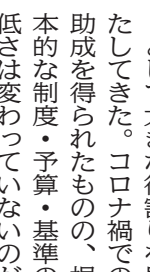
「私たちが人権保障のいらない手だ」をスローガンにした。地域活動の困難さは担い手不足、つまり職場から地域に送り出せないといふこと。職場で労働組合の姿を見えるように

0筆、愛知でも2942筆集約された。国会で採択された。他の組合から寄せられる署名が励みになった。厚くお礼を申し上げます。



学童保育現場の改善を

コロナ禍で学童保育労働者もエッセンシャルワーカーとして大きな役割を果たしてきた。コロナ禍での助成を得られたものの、根本的な制度・予算・基準の低さは変わっていないのが浮き彫りになった。この現状を変えていくため、学童保育支部では学習力を入れる。通勤大、わくわく講座にとりにくくみ運動に活かしていく。



建文労 新井代議員

このような環境にある。背景には国の福祉施策の不十分さがあり、21春闘では職場要求と制度改善運動の両輪で運動を進めた。3・11一斉行動では時限スト時に行政への要請行動。今後も医療改善を訴えていく。

愛労連2022年度役員

議長	長 西尾美沙子(新)	愛知県医労連
副議長	加藤 健二(再)	愛知国公
事務局長	竹内 創(新)	建文労愛知本部
事務局長	久 一(再)	愛知県労働組合
幹事	青木 利成(再)	東三河労連
幹事	石毛 正一(再)	全印総連愛知地連
幹事	大鶴 孝幸(再)	年金者組合愛知本部
幹事	尾崎 俊介(再)	検査労連名古屋支部
幹事	加藤 勇作(再)	タクシール協議会
幹事	北村 裕美子(再)	JM-TU愛知地方本部
幹事	河村 淳(再)	女性協(自治労連)
幹事	住田 末夫(再)	愛労連
幹事	津田 康裕(再)	自治労連愛知本部
幹事	西田 秀也(再)	福祉保育労東海地方本部
幹事	丹羽 秀徳(再)	生協労連愛知協議会
幹事	野々山 大輔(再)	愛知労働会
幹事	橋口 剛典(再)	自治労連愛知本部
幹事	福井 元氣(再)	青年協(自治労連)
幹事	矢野 彩子(新)	愛知県医労連
幹事	後藤 雄二(再)	愛高教
会計監査	高木 佳生(再)	全労連・全国一般
会計監査	高木 美由紀(再)	金融ユニオン東海支部
顧問	牧野 浩(再)	名古屋中地域センター
顧問	博松 佐一(再)	議長(生協労連)
顧問	崎崎 広二(新)	前議長(自治労連)

今こそ労働組合の「見える化」で仲間をふやし、運動強化し要求実現へ



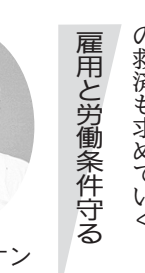
年金者組合 梅北代議員

「年金裁判」は全国39地裁中、20地裁で不当判決。11の高裁で審議中。原告の生活実態や女性の低年金問題も考慮していないのが問題。今後、政府の裁量を行う制限するか。裁判所の果たす役割や制度後退の意識性を訴えていく。



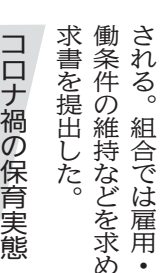
教員免許更新新制度を

教員免許更新新制度は全面廃止すべき。35才、45才、55才になると免許更新試験に合格しなければ免許失効する。この制度のため、教壇に立つていない保育者が失効し、育休中の職員が代理が見つからないなど現場



郵政ユニオン 岸田代議員

郵政20条裁判は昨年最高裁で判決。手当や休暇制度においての不合理的な現実に前進した。現在全国で集団訴訟が進んでいる。今後是非正規社員との格差を正す求めたい。



コロナ禍の保育実態

コロナ禍の保育実態。厚労省はこのコロナ禍の中でも「地域医療構想」を進め、病院の再編合理化・削減を正当化し、進めようとしている。地域医療を守ることは地域を守る。地域から反転の運動を強めよ



医労連 長尾代議員

は開所が求められ、社会的責務を再認識した。普段よりも少ない児童となり、ゆったりとした保育環境で改めて配置基準の改善が必要だと実感した。

緊急事態宣言中も保育園



Topics

7/11

パ臨連の定期総会をリモート併用し開催。記念講演で法政大学の西教授から「呪いの言葉」への対処を学んだ



7/23

オリンピック開会式前に、「いのちまもる」緊急行動。金山駅北口でのスタンディングを実施し、マスコミも注目



7/31

女性協総会を開催し、女性の働きやすい社会の実現へ意思統一。終了後はいのちまもる緊急行動にも参加した



8/2~9

原水爆禁止世界大会がオンラインで開催。大会期間中、愛知県原水協主催の試聴会が労働会館で開催された

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは…

TEL 052-871-5433(小松)まで
E-mail post@airoren.gr.jp



三菱電機争議に支援を
電機・情報ユニオン
新田代議員

この1年で愛労連の労働相談から3件の紹介があり、2人は組合に加入。加入者の問題解決にむけて三菱電機に団交を申し入れた。団交前には事前学習で三菱電機の労務問題や不正問題、国連やILOの方針について学んだ。



建交労
田村代議員

21春闘でコロナから生活守り、働き続けられる職場づくりを全組合員参加型で追求した。組合活動も制限される中、要求は自粛せず前進を勝ち取ってきた。保育パート支部は月給制化に伴い賃上げや休暇制度も前進があった。問題も残るが今後改善を求める。わくわく講座を15人受講している。学習をもとに総選挙で要求実現を。



自治労連
平野代議員

1165人の拡大も定年退職などで全体では500人の減勢。新人は65%を迎え入れた。新人に向けてのとりくみではリモートでの歓迎会や社会的距離を確保するための少人数ごとの分割開催など工夫し、成果が出ている。コロナだから「できない」ではなく「どうやったらできるか」を考える事が重要。



ローカルユニオン
原田代議員

ローカルユニオンは労働相談員が中心となっている。コロナ禍で労働相談の数も増え、質や内容も変容してきた。特殊な事例も増えてきた。今後もコロナ禍で全く新たな事例が出てくる可能性もある。本質を見極め対応する能力を持つことが求められる。



JMITU
平田代議員

7月5日に名古屋地裁で会社内での労働組合のぼり旗・横断幕掲示を認めないという不当判決が出された。オハラ樹脂分会は会社のワンマン経営での不誠実な対応を改善しようと結成された組合。のぼり旗なども不誠実な対応に抗議し団交を求めるためのもの。引き続き勝利までたたかう。



天白地域センター
山中代議員

安倍・菅政権は国民の声を無視し、様々なことを強行してきた。現在ではオリンピック・パラリンピックを強行しようとしている。閣僚によるハラスメント、付度強要など問題が多い。このような強権的な政治は許されない。総選挙で野党共闘を前進させ政権交代をめざしたい。



一宮地区労連
加藤代議員

公務員は労働基本権が制限されているが地公法の「措置要求」を活用し、いくつかの事例を改善した。郵送するだけなので気軽にできる。



尾東労連
甲斐代議員

春・秋の地域総行動で駅頭での宣伝行動の後、ここ10年ほど労基署、ハローワーク、商工会議所などと懇談している。労基署では労働相談の内容、労災の様子、企業の違反や査察の様子などについて話を聞いて

今後の主な日程

- 原爆パネル展
8月21日(土)~22日(日)
金山総合駅コンコース
- わくわく講座スクーリング
8月22日(日)10:00~
労働会館本館+リモート
- 青年協オンライン交流会
8月28日(土)19:00~
リモート開催
- 愛知母親大会in尾張旭
9月12日(日)10:00~
尾張旭市文化会館

※コロナウィルス問題で中止・変更の可能性あります。最新情報をお確かめのうえ、ご参加ください。

所属する愛教労では、労働組合に対する誤解を解くためツイッターでの音声による発信をしている。アプリも開発し、最新の組合チラシを取れるようにもした。今後は「教師からのパトロン」などでたたかう姿を社会に見せていく。



東三河労連
伊藤代議員

東三河労連も参加している毎月19日の戦争法反対集会が7月19日に3ヶ月ぶりに開催される。行動を続けることで労働組合や市民団体の姿を市民に見せることができている。東三河集会

クロスワードパズル

【解き方】イラストをヒントに、二重枠の7文字をうまく並べてできる言葉は？

【ヨコのカギ】
① 見物する人はいません
② 劉邦が初代皇帝です
③ すだれで囲った小屋
④ 酒やコーヒー、たばこ
⑤ ……路、……並み、……元
⑥ ……触れ。メンバーのこと
⑦ ミツバに似ていますが、ミツバより葉が多い
⑧ 体操競技の1種目。男子だけが不行了
⑨ 短気は……
⑩ 宮本武蔵の代名詞
⑪ 漢字で草魚とも書きます
⑫ ビート……は米大リーグの最多安打記録保持者

【タテのカギ】
① ふた……は20年
② コロナ禍の影響で飲食街や観光地で鳴いています
③ いやです、断ります
④ 分不相応な大きなくらみ餅にもなる秋の七草長所です
⑤ 和名で「握夢」と書く薬器
⑥ ……は世に……
⑦ ……は世に……

【8月号のバズル当選者】
青山浩 (国交労組)
遠藤広英 (碧南市職労)
加藤友久枝 (福保労)
川井雅晴 (国交労組)
久保麻里子 (東海法労)
留田敏和 (国交労組)
早川悦子 (福保労)
水野寿里 (年金者組合)
中井泉次 (名古屋市職労)
山下信子 (建交労)

みんなの声

人事院が規則を変更し、非常勤職員の一時金支給率を正規職員と同じにする模様です。まだ規則が改正されただけでどうなるのか？不明な所も多いですが、民間企業での同一待遇の流れを受けた対応であることは確かです。官民一体のたたかいは双方の処遇改善につながります。これからも、各職場ごとでのとりくみを強化することが大切です。(青山浩・国交労組)

本格的な夏が始まりました。

た。暑さとコロナ二重の苦しみです！気合いを入れて立ち向かいます。(中井泉次・名古屋市職労)

■年金者組合
執行委員長 丹羽典彦/副委員長 加藤瑠美子/執行委員長 大矢俊夫/同 渡辺博子/同 渡辺文人/同 渡辺義巳/書記長 梅北政義/書記次長 大鶴孝幸/同 吉良多喜夫/同 山森哲夫

■JMITU
執行委員長 北村淳/副委員長 加藤真己/同 平田英友/書記長 早川雄一

■自治労連
執行委員長 林達也/副委員長 津田康裕/同 伊藤英一/同 小川薫/書記長 橋口剛典/書記次長 平野正一

■ローカルユニオン
執行委員長 榑松佐一/副委員長 樋口秀行/同 原田芳裕/同 兵藤敏和